

[建築公開]

新しい時代のはじまり

The Start of a New Era

2019.4.20^{Sat} - 5.6^{Mon}



鎌倉文華館
鶴岡ミュージアム
Tsurugaoka Museum, Kamakura

主催：鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-53 鶴岡八幡宮内



建築家・坂倉準三(1901-1969)設計によるモダニズム建築を代表する「旧神奈川県立近代美術館 鎌倉」が「鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム」として生まれ変わります。

坂倉準三は東京帝国大学(現・東京大学)で美術史を学んだのち、建築を志して渡仏。20世紀建築の巨匠ル・コルビュジェに学び、1937年のパリ万国博覧会では日本館を手がけて建築部門のグランプリを獲得しました。

本展では、2019年6月8日の「鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム」開館に先がけて建築を公開し、1950年に行われた設計競技(コンペ)から今回の改修工事までの軌跡を、図面、模型、建築部材、映像、写真などで紹介します。最新の技術によって耐震補強、機能を向上させつつ、かつての姿を取り戻した空間で、日本の伝統とモダニズムの合理性を兼ね備えた坂倉準三の「建築の精神」をご体感ください。

- 1 建設当時の配色に復元された池の独立柱
- 2 平家池越しに見た南西外観
- 3 改修工事中の2階テラス
- 4 トラスに合わせて形状復元された屋根
- 5 鉄骨ブレースが中に仕込まれたオリジナルの大谷石積み壁
- 6 2階天井内のオリジナル山型の立体トラス
- 7 鋼板耐震壁で補強された大谷石積み壁
- 8 1階テラス天井内のオリジナルトラス梁
- 9 神奈川県立近代美術館にて ル・コルビュジェ(右)と坂倉準三(左) 1955年11月8日(画像提供:坂倉建築研究所)
- 10 参道側から見た旧鎌倉館 1951年頃(画像提供:神奈川県立近代美術館)
- 11 神奈川県立近代美術館 小屋組伏図 1:100(画像提供:文化庁国立近現代建築資料館)

2019年6月8日(土) 開館

鎌倉の文化の新たな発信拠点として、鶴岡八幡宮の祭事祭典とともに鎌倉の歴史や文化に関連資料と映像でご紹介します。



鎌倉文華館
鶴岡ミュージアム
Tsurugaoka Museum, Kamakura

[建築公開]

2019年4月20日(土)～5月6日(月・祝)

期間中無休

開館時間: 午前9時～午後5時(最終入館は午後4時30分)

入館料: 中学生以上500円/小学生以下は無料

■障がい者手帳をお持ちの方と介添者1名は無料

主催: 鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム

会場: 鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-53 鶴岡八幡宮内
鶴岡八幡宮 代表: 0467-22-0315 <https://tsurugaokamuseum.jp/>

- JR横須賀線、江ノ島電鉄線「鎌倉駅」下車 徒歩10分
- 当館には駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

